

学習指導要領		武蔵丘高校 学カスタンダード
<p>(4) 諸地域世界の結合と変容</p>	<p>ウ 産業社会と国民国家の形成 東方問題、イギリスのヴィクトリア時代、フランス第二帝政、イタリア・ドイツの統一、アメリカ南北戦争など、19世紀後半のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>[19世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制の崩壊を1848年の諸革命とクリミア戦争を関係付けつつ理解する。その文脈のなかにイタリア・ドイツの統一、東方問題とロシアの南下政策、ロシアの改革を位置づけて理解する。また、国民国家形成の過程で表出した諸国家の対立を利用したビスマルク外交の本質を理解する。 ・アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解する。 <p>[世界市場の形成とヨーロッパ諸国のアジア進出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的分業体制におけるアジア諸国の位置付けについて理解する。 <p>[オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の西欧化改革が外国資本への従属につながった要因を理解する。 ・イギリスによるインド支配の特徴について理解する。また、カースト制度を固定したのはイギリスのアジア文化に対する無知に原因があることを理解する。 ・タイが独立を維持できた背景を国際情勢のなかで理解する。 ・東アジア文化圏とキリスト教文化圏の差異が、一体化された世界の中でどのように問題となったのか理解する。 ・洋務運動と明治維新を比較し、その相違を理解する。 ・日清戦争の結果が、その後の東アジア世界に与えた影響を理解する。

学習指導要領		武蔵丘高校 学カスタンダード
(5) 地球世界の到来	<p>オ 資料からよみとく歴史の世界</p> <p>主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料集の図表や映像資料を活用し、歴史を多角的に考察する。
	<p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p>	<p>[科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次産業革命の特質を理解し、帝国主義と第二次産業革命のつながりを理解する。
	<p>ア 帝国主義と社会の変容</p> <p>科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解し、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解する。 欧米諸国の支配が強まる中で起きた、19世紀末～20世紀初頭のアジア世界の近代化を目指した運動の経緯を理解する。 日清、日露戦争について、朝鮮半島をめぐる日露の対立を軸に理解する。
<p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現</p> <p>総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[第一次世界大戦・ロシア革命とソヴィエト連邦の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦中の戦時外交、総力戦における統制経済について理解するとともに、ロシア革命とそれに対抗するために示された平和に関する14カ条がその後のアジアに大きな影響を与えたことを理解する。 <p>[大衆社会の出現とファシズム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解する。 1920年代のアメリカ合衆国の政治・経済の繁栄とその裏面にあった排他的な世相を理解する。 ムッソリーニによるファシスト独裁体制への過程を理解する。 	

学習指導要領	武蔵丘高校 学カスタンダード
<p>ウ 米ソ冷戦と第三世界</p> <p>米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソヴィエト連邦でスターリンが一国社会主義論を唱え、独裁権を握っていった過程を理解する。 <p>[第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国における国共の対立、インドにおける国民会議派と全インド=ムスリム連盟の対立についてそれぞれ英・日との関係のなかで理解する。 <p>[世界恐慌とその後の世界情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解する。 ・満州事変から日中戦争に至る過程やナチス=ドイツが独裁権を確立していった過程を理解する。 ・スターリンの独裁体制が確立していった時期のソヴィエト連邦の外交政策について理解する。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解する。 ・ヨーロッパにおけるドイツの、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解する。 ・第二次世界大戦中に行われた首脳会談の内容について理解する。 <p>[米ソ両陣営による冷戦の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツと日本の戦後処理の違いについて理解する。 ・冷戦の構造が政治体制とイデオロギーの対立であることと冷戦状態が継続した背景に核の抑止力が働いていたことを理解する。 ・冷戦体制の激化がアメリカ合衆国の対日占領政策に与えた影響や日本が西側陣営に組み込まれていく過程を理解する。